

平成 24 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 島 根 秀 明
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長兼財務経理部長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

平成25年3月期第1四半期業績と前年同四半期業績との 差異に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）の業績が、前期の平成 24 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期業績と前年同四半期業績との差異について

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成 24 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (A)	709	666	△189	52	88	1 円 51 銭
平成 25 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (B)	737	709	42	221	184	3 円 31 銭
増減額 (B - A)	27	42	231	168	95	1 円 80 銭
増減率 (%)	3.9	6.4	—	318.8	108.0	119.2

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで）における我が国経済は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災からの復興に向けた需要による景気回復の動きが期待される一方で、電力供給の制約や原子力災害の影響など、依然として懸念すべき問題は残っており、欧州政府債務危機の再燃や中国経済の成長率鈍化などを背景とした海外景気の下振れ等にも景気が下押しされるリスクが存在しております。

このような環境の中、株式市場におきましては、期首に 10,100 円台で始まった日経平均株価は、欧州政府債務危機を巡る不確実性や米国の経済指標、円高の長期化などに影響され、6 月初旬には一時 8,200 円台まで下落いたしました。その後は緩やかに回復したものの、平成 24 年 6 月末の日経平均株価は 9,006 円 78 銭で取引を終了いたしました。

当社グループの中核会社であるあかつき証券㈱におきましては、以前より強みを有する株式委託取引に加え、投資信託及び債券等の販売強化による収益の多様化を図り、営業収益に対する金融商品の販売による手数料収入の比率を高めてまいりました。また、経営の効率化に努める一方で、投資銀行業務など法人ビジネスの強化にも取り組み、収益の拡大を図ってまいりました。

重要な経営課題である対面営業の更なる強化を図るため、当社はドリームバイザー・ホールディ

ングス株の普通株式公開買付けを行い、その結果、同社は当第1四半期連結累計期間より当社の持分法適用関連会社となりました。これにより、ドリームバイザー・ホールディングスグループが提供する投資関連情報や投資分析関連コンテンツ等をあかつき証券株が顧客への営業ツールとして使用するなど、顧客に対してタイムリーかつ適切な金融情報と投資助言を提供し、同業他社との差別化を図ってまいります。

このような株式市場の中で、当社の連結子会社であるあかつき証券株の当第1四半期連結累計期間の業績は、受入手数料 435 百万円（前年同四半期比 28.4%減）、トレーディング損益 257 百万円（前年同四半期比 889.4%増）、営業利益 79 百万円（前年同四半期は営業損失 162 百万円）、経常利益 88 百万円（前年同四半期は経常損失 153 百万円）、四半期純利益 62 百万円（前年同四半期は四半期純損失 162 百万円）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は 737 百万円（前年同四半期比 3.9%増）、営業利益は 42 百万円（前年同四半期は営業損失 189 百万円）、経常利益は 221 百万円（前年同四半期比 318.8%増）、四半期純利益は 184 百万円（前年同四半期比 108.0%増）となりました。

以 上